



ひとまちふくおか

H I T O M A C H I F U K U O K A

特集

移住 自分らしく福岡で生きる

柳川市／柳川ゲストハウス ほりわり

島田 侑季さん

柳川市／フードラボラトリーヤナガワ オーナー・パティシエ

田中 真耶さん

福岡市／カボス・スタジオ 脚本家・プロデューサー

マーク・カウワンさん

芦屋町／芦屋釜の里 工房業務従事者

堀内 快さん



注目建築▶ 福岡県弁護士会館

空き家が蘇る！ うきは市／泊まれる古民家レストラン 本格十割蕎麦 きふね

協会NEWS▶ 2021年 年頭挨拶・献血重点月間・春のまちめぐり 柳川市／芦屋町

スクールウォッチ▶ 福岡県立浮羽工業高等学校

福岡県弁護士会館

「親しみやすい雰囲気オープンな空間で福岡らしさを表現」

一般市民の方も利用しやすい施設を目指して

福岡県弁護士会館は、2009年に移転した九州大学六本松キャンパス跡地の再開発エリアの一角に、県内約1,400人の弁護士が所属する福岡県弁護士会の新しい事務所として、2019年2月から業務を開始した。

地上4階建てのこの建物は、1・2階を一般市民の方も法律相談や法律に関するセミナー等に利用できるエリア、3・4階を弁護士のみが会議等で利用できる専用エリアにゾーニングされている。



特殊研磨加工のステンレス外壁



外壁に施された「博多献上柄」

エントランスに張り出した建物外壁のステンレスは、特殊研磨加工で博多織の「博多献上柄」をモチーフにデザインされており、「博多らしさ」を表現している。

また、1階のアトリウムはガラス張り、開放的な雰囲気にデザインされ、市民に対して「開かれた会館」として、相談者が気軽に立ち寄れるような親しみやすい空間となるように配慮している。また、隣接する公園側にある3室の相談室は、公園にあるデザインされたトイレと同じような外壁で仕上げ、公園との一体感を演出している。



1階アトリウム



1階相談室



相談室内部



2階大ホール

大中小3室の相談室は、3軒の家のように独立しているため、プライバシーも保たれ、内部も緊張せず相談できるように木や土壁系の仕上げで、相談者が落ち着いて話せる空間となっている。

エントランスに張り出した2階部分には、音響・映像設備を完備したスクール形式で、270人収容の大ホールが配置されている。弁護士会内の各種会議や市民向けの上映会、法律セミナー等にも対応できる。また、床全体からのしみ出し空調を採用、四季を通じて快適な室内環境となっている。

大ホール奥にある女性専用室の室内には、授乳コーナーやキッズプレイコーナーも設けられており、子ども連れでも気兼ねなく利用できる配慮もなされている。

3・4階は弁護士専用利用のフロアで、中小様々な規模の会議室や図書室、約4,000冊委員会資料を収納可能な可動式書庫等も配置し、オンライン会議にも対応できるシステムも導入されている。

4階には、会議等の間に一息つけるように、大ホールの屋根を屋上緑化しテラスを設け、季節によってはラベンダーの花が満開になる空間を演出している。

設計者の考える「外観はビシッと決めているけど、中身は人間味ある心優しい弁護士」のイメージを見事に形で表されている。



女性専用室



屋上緑化



開花したラベンダー



4階大会議室



3階会議室



福岡県弁護士会館

- 第32回福岡県美しいまちづくり建築賞 一般建築の部 大賞
- (一社)日本建築学会九州支部 建築九州賞 佳作
- LIT LIGHTING DESIGN AWARDS(米国の照明賞) "LIT Lighting Designer of the Year" 受賞
- 照明学会普及賞 九州支部長賞
- 第18回ステンレス協会賞 優秀賞受賞

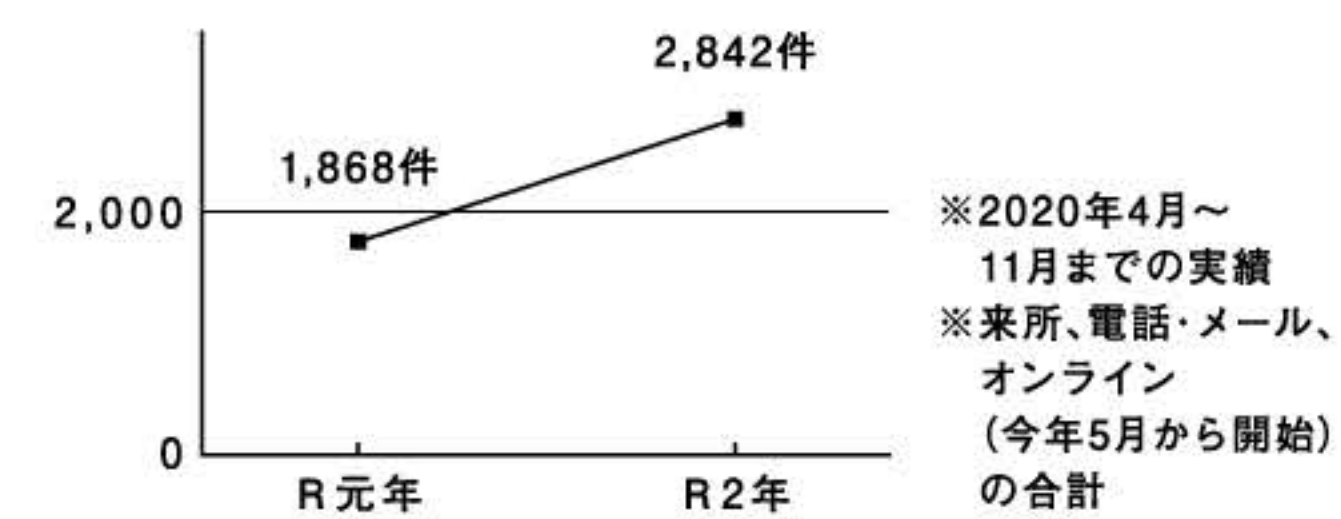
建築場所: 福岡市中央区六本松4丁目2番5号
構造・規模: 鉄骨ブレース構造・地上4階建て
建築面積: 1,539.83㎡
延床面積: 4,100.99㎡
設計: 株式会社 古森弘一建築設計事務所
施工: 株式会社 奥村組

移住 自分らしく福岡で生きる

昨今、調査機関や媒体の「住みたい街」の調査で、福岡市以外の市町名が上がり注目されています。東京と福岡にある福岡県の「ふくおかよかとこ移住相談センター」に寄せられる移住相談の件数も急増しています。

今号では、自分らしい生き方、新しい生き方をするために福岡県に移住してきた4人の方に話を伺いました。

●福岡県への移住相談件数



横浜市から柳川市へUターン

島田侑季さん

柳川ゲストハウス ほりわり



プロフィール：中学までを柳川で過ごす。大学は横浜。友人の手伝いなどで国内外を回る。卒業後、大手住宅メーカーに就職し、CADオペレーターや設計担当、二級建築士として現場監督を務め、2015年仕事で柳川へ帰郷した際にUターンを決意。祖母の家を改装し「柳川ゲストハウス ほりわり」をオープンした。

当たり前になってしまった風景にこそ柳川の魅力がある

「柳川ゲストハウス ほりわり」は、柳川を流れる掘割沿いに静かに佇みます。日本中を旅した時に知り合った仲

「水」と「人」と「風」が揺らぐ柳川でつなぐ場を

人がそこに根付き生活しているその風景そのものが『まち』そのもの。でも、長く住んでいる人には当たり前すぎて魅力を見落とすことがあります。島田さんは、「柳川はタイムスリップしたような街。風を感じることができる街並みが大好きなんです。歩いてなんぼの街だから、食べ歩きをしながら散策すると非日常的な環境に出会えます。ここにしかない柳川の色を残す活動、その魅力を自慢できる機会や、しゃべり場を作りたい」自分の思いと向き合い行き着いたのがゲストハウスだったと話します。

人々が動き出すと街も動き出す

商店街に定休日の店が多い日には、軒先を借りて焼いも屋を開いたり、有明海の手伝いをして昔の製法

間、累計128人が「ほりわり」の改装を手伝い完成。今は現場監督を請負いながら、宿舎の経営を切り盛りしています。

を聞いたり（今は昔の製法ではありません）、移住された方に仕事を紹介したり、周りから声を掛けられることも本当に多いのだそう。「しゃべり場を越えたその先に人のつながりが見えてきました」島田さんのような自分らしい生き方を持つ若者が、街を動かす刺激的な存在になっているようです。

ポテンシャル高きゲストハウスでこれからも挑戦していく

「ゲストハウスは、地域の中での役割が柔軟なんですよ。私たちの時代は、地方に居ても都会と同じ仕事ができる。子どもの頃に楽しんだ柳川のお祭りに映される『豊かな日本の風土』をずっと残していきたい」と、描いた夢を追いかけています。



宿泊は18人まで。玄関を入ると宿泊者同士が交流できるスペースがあり、心地よいジャズが流れている。



宿泊客に人気の地元で活動する作家の作品が並ぶ。柳川をテーマに、宮崎駿監督、高畑勲監督が作っているDVDもあるそうだ。



おススメの場所はむつごろうランドから見る夕陽。有明海苔の養殖の棒が立ち並ぶ海に、雲仙の山々に沈む夕陽が映りこみとても美しい。

「まちランキング」

- ★森記念財団 都市戦略研究所 「日本の都市特性評価」3位・「世界の都市総合力ランキング」43位／福岡市（東京都、大阪府もランク入り）
 - ★英国発世界的情報誌「MONOCLE（モノクル）」～「輝く小さな街」2021年ランキング 世界3位／糸島市 ※人口25万人未満の街を対象とする調査
 - ★日経BP 総合研究所「シティブランド・ランキングー住みよい街2020ー」 8位／春日市 11位／福岡市 19位／宗像市 20位／太宰府市
- ※調査は各調査団体が安心・安全や利便性等の指標を設け独自に調査したものの。詳しく知りたい方は各調査をホームページでご確認ください。

東京から柳川市へUターン

田中真耶さん

フードラボラトリーヤナガワ／オーナー・パティシエ



プロフィール：10年ほど東京でパティシエとして働く。2016年に、柳川市「地域おこし協力隊」の求人を発見。山梨に行くか、柳川に行くかを悩むが、柳川市で採用されたことから移住を決意。それからは、パティシエという強みを活かし「食関連」で柳川市のPRを行い、3年目にお店を開店させた。

一番感動したのは「空」の広さと「朝」の静けさ

田中さんがオープンさせた「フードラボラトリーヤナガワ」は、柳川市中心に位置する三柱神社から宮地嶽神社と歩いていった場所にひっそりと佇んでいます。この日は、ショーケースには何のスイーツも

ずっと東京から移住したいと思っていた20代

移住の背中を押したのは、2011年に起こった震災。その時、東京の脆さと自身の生きる力のなさを痛感しました。長野や山梨等自然豊かな地域への思いが加速しますが、なかなかピンとこない。ある日、友人がいる佐賀県を訪れた時のこと。高い建物がなくて開放的な平野が広がり、ゆっくりした時間の流れ、食も豊かで人の温かさが感じられ「思い切って九州も良いかな」と直感的に思ったのだそう。帰京してすぐに、移住のきっかけ探しを始めます。そして見つけた久留米市と柳川市の地域おこし協力隊の求人。

柳川の風景と優しい人たちの中でお店を開きたい

田中さんは柳川市の地域おこし協力隊になります。その任務は、中島商店街の朝市を復活すること。柳川の農産物を使って小学生と商品開発をするなど精力的に活動し、地元とのネットワークも増えました。そして、3年目の10月に自分のお店をオープン。「この町が好きだから“ヤナガワ”という地名を入れました。始めはどこまで注文を受けたらいいのかわからず、この床で寝泊りしてました（笑）」

子どもたちに残すのはゴミじゃない。美しい自然環境ときれいな水

「地域の方々がとても温かくお店を応援してくれ、柳川に移住して本当に良かったと思っています。もっと地域に愛されるお店にした

販売されていませんでした。それもそのはず。平日は予約注文だけ、土日限定で開店し、美味しいスイーツが並ぶのだそう。

い。私自身、大人の責任として、子どもたち世代のために、柳川の美しい自然ときれいな水を残したい」と語ります。今の若者のことを、「会社員が絶対いいという人も少ないかなあ。自分らしい生活、時間に余裕があり自然が近くにある、家族との時間を大切にしたい心地よい暮らしへの価値が高まっている気がします」これからの担う若者の新しい価値観が垣間見れたインタビューになりました。



始めに完璧な状態で開店せず、稼いだら窓を改修したり、オープン設備を増やしたりしながら、日々進化している。訪れる度に変わるという。



予約注文のほとんどはInstagramからで、SNSが店の可能性を広げている。緊急事態宣言時には「おうちでゆっくりセット」が人気だった。



田中さんの好きな場所は、三柱神社の芝生公園。天気の良い日にワインを持っていき、ゴロゴロする時間が最高。



プロフィール：カナダ トロント生まれ。カナダの大学を卒業後、妻の両親が住む福岡へ移住。移住歴27年。英語教員、教育ソフトのシステム開発、映像制作など、多岐に活躍。福岡市を拠点に働く。

福岡のまちが若者に夢を与える大きなビジネスオフィスになる

世界でもまれに見る交通利便性・豊かな食文化・自然がすぐそばにある環境などから、住みやすい街として知られる福岡市。若者スポットとして人気の今泉エリアにあるカフェ

公園を見るとそのまちの良さがわかる

「カナダの大学を卒業後、妻の両親が住む福岡で憧れのNIPPONを学ぼうとやってきました」2〜3年の滞在予定が今年で27年になったと笑うマークさん。「箱崎、それから鳥飼へと引っ越しを繰り返し、今の室見に住居を決めたのが17年前。室見川近くの静かな住宅街にある公園には、中央に大樹が茂り、子どもたちが親の監視なしに木登りや鬼ごっこをして笑顔で遊んでいました。ここなら安心安全に子育てできる!」と確信したそうです。「公園は、まちの性格を表します。福岡市には沢山の公園があり、それぞれ機能を果たしています。ここ今泉でも、公園からランドセル姿の子どもたちの声が聞こえてくるでしょう?」

福岡人は、人情深く、人が好き

「博多の人は、困っている人を見ると放っておけない人情味あふれる気質…それに、お店のサービスも徹底されていて、店員さんも優しい」ネットワークづくりが得意で、結びつきも強い福岡の人々にいつも助けられていると語ります。

コンパクト…でもエネルギッシュ

「福岡市の魅力は、このまちのサイズです。東京や大阪に劣らない都会としての機能や、山、川、海の豊かな自然が近くにあるのも魅力。しかも移動にエネルギーを要しません。また、シアター、ドーム、スタジアム、カフェ飲食店など、集客機能は量、質ともに全部揃っています。150万人の人口にしては、驚くほど都市環境が整っています。それは、ビジネスにとっても効率的です」九州他県や山口から、若者が憧れ、集ってくる理由を分析します。夢を追う若者が商談したり、企画したり、福岡のまち全体が、若者のオフィスとなって、大きなビジネスチャンスを描く場所になっていることを誇らしげに感じています。

で、27年前にカナダから福岡に移住した脚本家・プロデューサーのマーク・カウワンさん取材しました。

ストーリーが走り出すまち並みと歴史

映画を製作するマークさんにとって、「赤レンガ会館、柳橋連合市場、中洲のネオン、高取地区、唐津街道、山間の神社等、絵になる場所は山ほどあります。福岡の地形はとても面白く、建築物もかなりバラエティに富んでいます。まちを見渡すと、映画の題材になる物語が沸々と湧きます」幽霊ものでは元寇時代の地形を研究し、中洲辺りでは昭和のやくざ映画的なストーリーを思い浮かべてしまうのだとか。現在、福岡をロケ地に、映画「水中めがね」(※2021年公開予定)を制作しているそう。映画の完成が待ち遠しいですね。時間を忘れるほど、マークさんの映画に対する熱い話で盛り上がりました。

●マークさんの最新情報

「四柱女神」廃れた神社に祀られた4人の女神の、明るく浮き浮きした毎日の出来事についての話。

<http://www.kabosustudios.com/four-goddesses>



福岡の魅力を分析するとやめられない!とまらない!



福岡市中央区今泉にあるマークさんが大好きなカフェ「コモエス今泉」。

堀内 快さん

芦屋釜の里 / 工房業務従事者



プロフィール：石川県金沢市出身。富山県高岡市の大学と大学院で美術鑄物について学び、2020年に芦屋町が支援する工房業務従事者として「芦屋釜の里」に就職。芦屋町が誇る茶の湯釜・芦屋釜を復興させるため、釜作りの技術習得に励んでいる。



芦屋露地真形釜
(あしやあられじしなりがま)
室町時代芦屋釜の里蔵

芦屋町には、伝統工芸を愛しむものづくりの理想の形がある

芦屋町は、県北部を流れる一級河川「遠賀川」の河口両岸に位置し、西岸には航空自衛隊芦屋基地、北側は響灘に面しています。ここ芦屋で作られていた茶の湯釜は「芦屋釜」と呼ばれ、15世紀頃、京都の貴族や武士に好まれました。

芦屋釜の伝統美に魅せられて

作務衣姿で現れた堀内さんは、「室町時代には茶の湯釜の名器として一世風靡した芦屋釜を総力挙げて、忠実に再現しようとする町の意気込みに魅力を感じました」と移住の理由を語ります。芦屋釜は、国内でも有数の美術工芸品。国の重要文化財として指定された茶の湯釜9点のうち8点がここで作られたものです。学生時代は大量生産の鑄物工場でアルバイトをしていましたが、究極の鑄物づくりにロマンを感じ、ここ芦屋町で鑄物師(いもじ)として生きていくことを決心したそうです。

雪国金沢から、憧れの地福岡へ

生まれも育ちも金沢で、北陸から離れたことはなかったため、一年中雪が積もらない福岡は、憧れの地。「金沢の冬は、雪との闘いで、タイヤの履き替え作業など結構大変。福岡の人々の気さくな人柄はこの過ごしやすい冬にヒントがあるのかも…」と思っていましたが、実際に住んでみると玄界灘からの風が結構冷たい!「雪国北陸では落葉樹が多く3月には山肌が見えますが、九州の樹々は落葉しないことにも驚きました」と、福岡の自然や季節も体感しているよう。

金沢で育った僕だから、芦屋町で学べるのが沢山ある

「金沢には、漆や金工などの工芸品が、まち中や生活の中に当たり前にありました。工芸を支える伝統文化が歴史とともに息づいています」金沢を離れて初めて、それが特殊な環境だったと気付いたそうです。「ここ福岡県には、高取・上野焼をはじめ焼き物の窯場が数多くあります。遠賀川は、かつて貿易・文化交流の要でした。伝統工芸・ものづくりの基盤が芦屋町にも根付いています」伝統文化も福岡の魅力の一つと話します。

400年前に途絶えてしまったその製法や技術を復興させたいと建てられた「芦屋釜の里」で、日々釜作りの技術習得に励んでいる堀内さんは、今年4月、石川県金沢市から芦屋町に移住してきました。

ものづくりの理想の形が、この町にある

「自分の好きなことができて、毎日が楽しくてしょうがないというのが本音。芦屋町に来て、辛かったことはありません。遡ってみると、小学生の時、母に連れられて鑄物の作業を見学に行った時から鑄物の虜になっていたのかもしれない。真つ朱な溶金を流し込む作業を目の当たりにして、こんな職業もあるんだと思ったのを覚えています」本当に美しいものしか作らないという先輩方の理念がものづくりの理想の形。『大先輩が作りあげた釜に少しでも近づぐために毎日頑張っていきたい』と、霰(あられ)を打つ指先を見つめる目にあらためて決意の固さを垣間見ました。

若い人へのメッセージ

鑄物師になって生活できるか? 自問自答した時期もありました。それでも、決心しなくてはならない時はやってきます。その時は、とりあえず行動することが大切かもしれません。その環境の中でしか学べないことはたくさんあります。



施文(せもん)作業。外型に一粒一粒霰の文様を描く。鑄型を作るだけで2か月以上かかる。



作業を終えて茶室の前で一息する堀内さん。



築150年の古民家と現代的デザインがシンクロ

きふねの集客力は『健康な食』『コミュニティ』そして『デザインのチカラ』

運営主体である調剤薬局を営む企業が、在宅医療に取り組んでいた際、地域に残されている高齢者の方を小旅行に連れていきたいと起案したのが設立の大きなきっかけだった。開店当初から、土日はもちろん平日のランチタイムには長蛇の列ができ、キャンプ場は家族づれに人気となっている。運営責任者の鍋島氏は「『きふね』のこだわりは、古民家の懐かしさと非日常を感じさせる斬新な建築デザインがシンクロした空間とそこで食す『蕎麦』を軸とした体に良い食。そして、泊まると面白いのでは?という話から雑木林を整地して作ったキャンプ場。焚き火を通じてできる宿泊者同士の心地よいコミュニティが魅力と、リピートも頂いています」と語る。

計画するにあたっての一番のポイントは、築150年の崩壊寸前であったこの建物をリノベーションするのに、古民家のシンボルでもある、時代を経てきた屋根の架構を残したこと。そのために屋根をワイヤーで引っ張る等、現代の新しい構造を組み入れながら古い材料と対比させることでダイナミックな構造を現代によみがえらせることが可能となった。また、屋根以外に壁なども当然、構造補強が必要となってくる。古民家だからといって構造補強を隠しながら行うのではなく、構造補強の要素を露出させながら空間の構成エレメントとして扱うことが古いものを際立たせる空間となり、崩壊寸前の古民家の利活用が可能となった。



既存の傾いた柱の横に新しい白い壁を垂直に立てる。壁と柱にできた隙間には真っ白のフレームのガラスドアを入れる等さまざまな工夫がされている。



のど越しがよい十割蕎麦と地元農産物にこだわった洋風のオードブルと天ぷら。夜は宿泊客限定でイタリアンシェフによるメニューを頂ける。



既存の柱を残しながら大きなガラス面で仕切ることで屋外と視覚的な一体感が生まれ、室内にいなが古民家の縁側にたたずんでいるような感覚になる。

FARM THEATRE 山北小路

キャンプ場 きふね



「きふね」が食と空間以外に大事にしているものがある。それは『体験』、旅の思い出作り。広い庭に作られたキャンプ場には、存在感のある大きなテントが張られ、家族単位で利用でき、夜には星空を眺めながらキャンプファイアの火を楽しめる。

大きなテントは2張り。冬でも泊まりに来る人がいるという。夏には、筑後川や夜明ダムでのアクティビティ「カヌー体験」や「自転車体験」が人気で、その後に入る五右衛門風呂は格別なのだそう。



非日常の一棟貸切 宿泊



計画していく中で、ゆっくり1泊してうきはを楽しめるような場所が欲しいとの意見が上がってきた。福岡市内から1時間半程度の距離であれば、地域の人のみならず、都市部の人もゲストをつれて訪問しやすい距離でもある。そこで、高齢者から若者まで誰でも集い、ゆっくり非日常空間を満喫しながら宿泊できるように、古民家の雰囲気を残した1棟貸切の民泊施設を併設している。



運営責任者の鍋島崇暢氏

FARM THEATRE 山北小路

きふね

- 所在地:福岡県うきは市浮羽町山北694-1
- 構造:木造平屋(築150年)
- 営業時間:11時~蕎麦がなくなり次第、17:00~宿泊予約のみ
- 定休日:火・第2水曜日・月曜日は11:00~17:00
- 電話:0943-73-7380



ものをつくり、夢をつくる。 21世紀を勝ち抜く人となれ!



1・2年生の現場見学先は福岡市の天神ビッグバンで話題の「福岡ビジネスセンター」

来年度創立115周年を迎える浮羽工業高等学校。卒業生は2万1千人に上り、福岡県でも多くの人々が活躍しています。生徒の皆さんは、校舎の窓から見える雄大な耳納連山と豊かな自然を身近に感じながら授業に臨んでいました。

学校では、「ものづくり」を中心に据えた21世紀に対応する工業人を育成するカリキュラムが組まれています。建築分野で活躍したいという夢を実現するため、まず入学時に、建設系か機械・電気系に分かれ、教

科と工業技術の基礎、ビジネス基礎を学びます。そして建設系を選択した生徒は2年生で、建築科、環境デザイン科に分かれ知識と実習を通じた実践力を身に付けています。

毎年、(一社)福岡県建設業協会の支援を受け、1年生の時から実際の工事現場見学を積極的に行い、建設業の可能性を肌で感じる時間も設けています。今年度は「福岡ビジネスセンター」を見学しました。

今回は3人の方に将来の夢について尋ねてみました。



測量実習(2年生)／測量する目は真剣そのもの!



3年間をかけ「私の家を建てる」を学ぶ／模型の一部をチームで分担して制作



木工実習で作った消毒液設置台(3年生)／完成した消毒液設置台は校内のあちこちに設置。近くの福祉施設にも寄贈している。



My Dream 将来の夢について聞きました

僕は将来「大工」になりたい!きっかけは自転車で通学する時に、家を建てている職人さんを見かけて、「カッコいい!」と思ったからです。現場見学の実習でその思いがさらに膨らみました。残りの高校生活では、苦手な部分を克服しつつ、仕事をする時に必要な資格を取得したいと思っています。



建築科／2年
長渡 青空さん

私はものづくりに関わる仕事に就きたい!その理由は、好きなプラモデルを完成した時の達成感と努力が形として残ること、さらに、中学2年生の時にいった職場体験で働いている人のやりがいに気づいたからです。チームが一つになって物を作っていく仕事に就くため、日々勉強に励んでいきます。



建設系／1年
鶴田 彬人さん

私はものづくりに関わる仕事に就きたいと思っています。大きな目標は、地図に残る大きな建造物の建築に関わること。今、私がいる環境建設コースでは測量を学んでいます。まだうまくできませんが、カリキュラムの1つ1つを全力で取り組み、将来就く仕事のために、「今」を頑張りたいと思っています。



環境デザイン科／2年
大熊 千翔さん

DATA 福岡県立浮羽工業高等学校 久留米市田主丸町田主丸395-2 TEL0943-72-3111



一般社団法人 福岡県建設業協会

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-14-18

TEL.092-477-6731 <http://www.fukukenkyo.org>

(一社)福岡県建設業協会は、福岡県の建設業のための公益を目的とした団体です。

会員情報は「こちら」

